

平成30年度 決算

一般会計歳出合計は
525億1,390万円

財政課・☎2106

市の平成30年度決算がまとまり、9月に開かれた市議会で認定されました。

一般会計では前年度決算対比で歳入が1・2%の増、歳出が0・6%の増となりました。

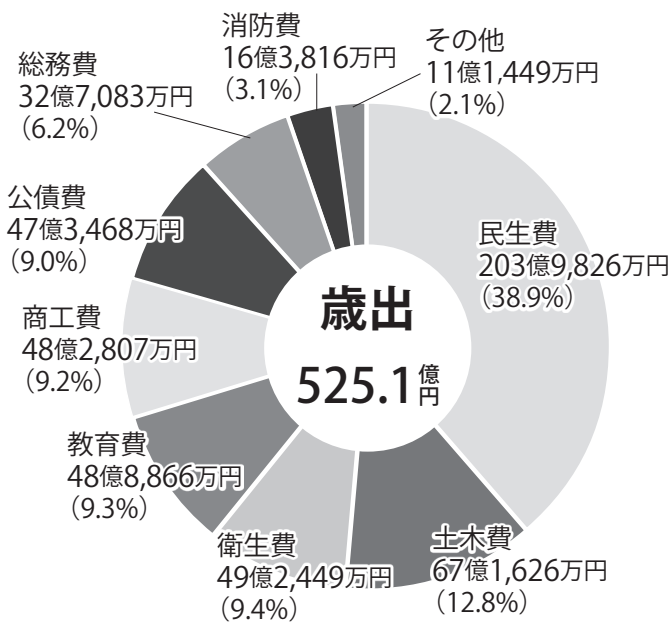
実質収支額は16億6083万円の黒字で、8億円を財政調整基金に、2億円を減債基金に積み立て、残りを翌年度繰越金としました。

財政健全化法に基づく判断比率も、国の定める基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

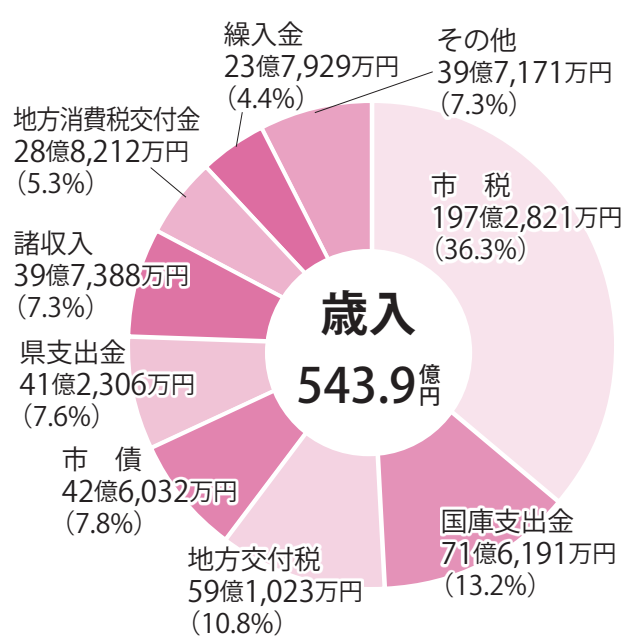
しかし、今後は公共施設の老朽化対策に伴う大きな財政負担が見込まれます。1月に策定した『大型公共施設更新に向けた財政指針』に基づき、さらなる行財政改革に取り組んでいきます。

一般会計決算内訳

歳出 525億1,390万円
前年度対比 +3億3,119万円、+0.6%



歳入 543億9,073万円
前年度対比 +6億6,450万円、+1.2%



特別会計決算額

会計名	歳入	歳出
介護保険(保険事業勘定)	125億8,968万円	122億8,538万円
国民健康保険(事業勘定)	156億702万円	154億4,587万円
後期高齢者医療	17億9,066万円	17億7,942万円
太陽光発電事業	6,206万円	5,585万円
農業集落排水事業	4,244万円	4,244万円
公共下水道事業	58億4,620万円	56億8,220万円
堀里ニュータウン下水処理事業	1,458万円	1,219万円

市民1人当たりの額(一般会計)

1人当たりが
負担した額(市税)

13万7,375円

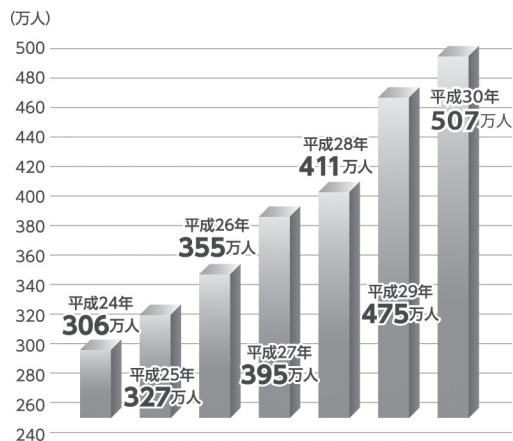
1人当たり
に使われた額

36万5,675円

※差額の22万8,300円は、国・県の補助金や地方交付税などでまかなわれています。

平成30年度に取り組んだ主な事業

- ▶結婚・子育て・学びあいプロジェクト
- 放課後児童クラブの運営委託、運営費の補助など
2億7,598万円
- 産婦健診、産後ケアの実施 653万円
- 不妊・不育症治療費の助成 1,542万円
- ▶元気なしごとづくりプロジェクト
- あがた駅南産業団地の開発 3億100万円
- ▶まちの魅力発信プロジェクト
- シティプロモーションの推進 1,471万円
- 足利学校大成殿の保存修理工事など 1,550万円
- 空家等実態調査の業務委託など 2,025万円
- ▶映像のまち構想プロジェクト
- ロケーション補助、あしかが映像まつり、
ロケ地バスツアーなど 1,869万円
- ▶スマートウェルネスシティプロジェクト
- まちなか回遊サインの設置など 245万円
- あしかが生活路線バスの旅への補助など 78万円



◀観光客入込数が過去最高を記録

- ▶公共施設の最適化プロジェクト
- 旧勤労青少年ホーム解体撤去工事など 3,467万円
- 斎場整備に伴う測量業務委託など 1,104万円
- 消防本部庁舎の設計等業務委託 3,110万円
- ▶その他(地方創生総合戦略事業など)
- 救急自動車の購入 3,931万円
- 保護者の外出支援(ママのお出かけサポート)
151万円
- 硬式野球場の防水改修工事など 3,595万円



▲足利学校大成殿の保存修理工事の見学会



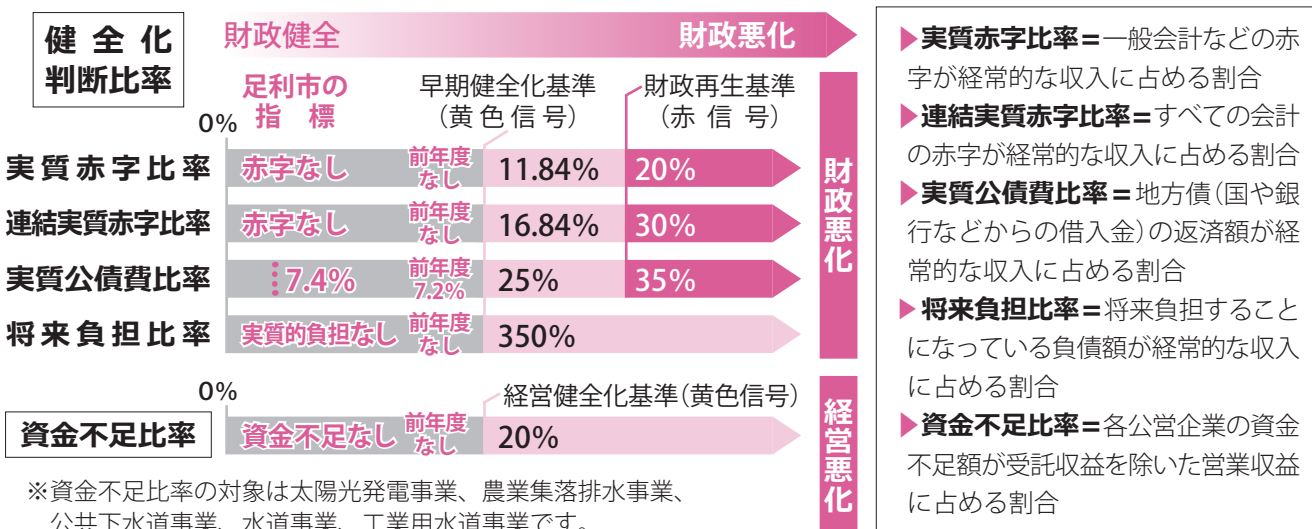
▲新足利市医師会館の一部を借用して保健センターを移転



▲映画『アルキメデスの大戦』の撮影風景

健全化判断比率・資金不足比率

いずれの指標とも国の基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。なお、この指標は、基準より低い数値であるほど、財政状況が健全であると判定されます。



- ▶実質赤字比率=一般会計などの赤字が経常的な収入に占める割合
- ▶連結実質赤字比率=すべての会計の赤字が経常的な収入に占める割合
- ▶実質公債費比率=地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額が経常的な収入に占める割合
- ▶将来負担比率=将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合
- ▶資金不足比率=各公営企業の資金不足額が受託収益を除いた営業収益に占める割合